

2016.2.24 PRIUSシンポジウムにて

PRIUSについて —運営上のお願い—

井上 徹(愛媛大学GRC)



先進超高压科学研究拠点

PRIUS

共同利用・共同研究拠点「先進超高压科学研究拠点」

Premier Research Institute for Ultrahigh-pressure Sciences

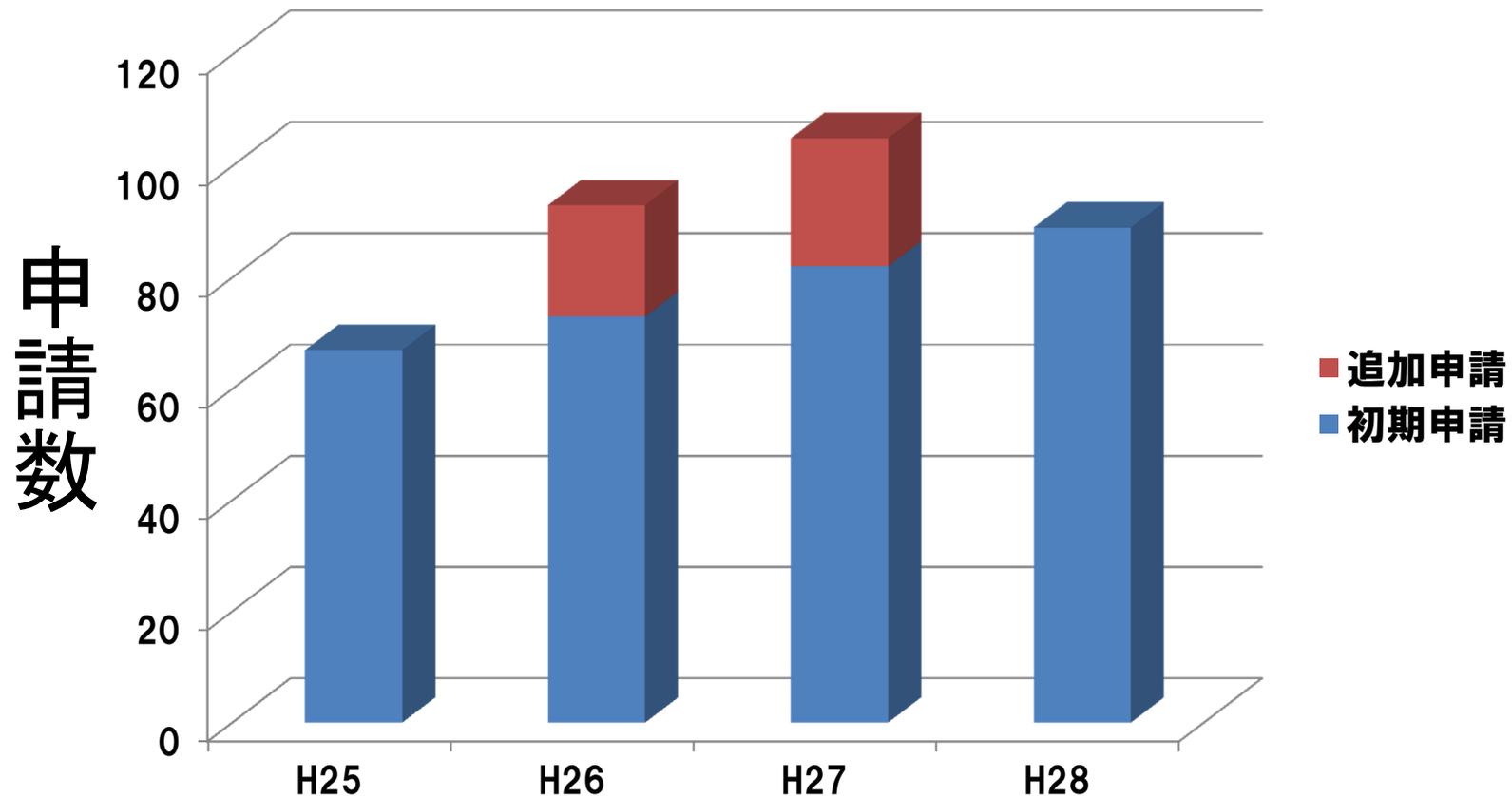
愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター

PRIUS

国立大学法人 第2期中期目標期間の途中：H25年度に採択
H26年度より予算措置

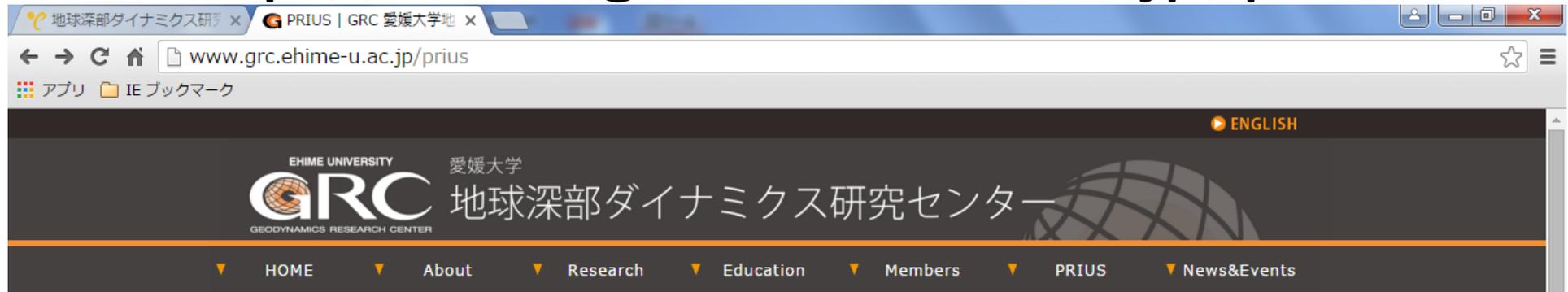
第3期中期目標期間(H28年度～)も継続採択

PRIUS申請数



PRIUSホームページ

http://www.grc.ehime-u.ac.jp/prius



愛媛大学先進超高压科学研究拠点(PRIUS) 共同利用・共同研究について

愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター（GRC）は平成25年4月1日、文部科学省により共同利用・共同研究拠点「先進超高压科学研究拠点 Premier Research Institute for Ultrahigh-pressure Sciences (PRIUS)」として認定されました。GRCでは、平成13年4月の設立以来、超高压実験・物性測定実験・数値計算などの手法を用い、固体地球深部の物質構成・構造・運動（ダイナミクス）についての先端的研究を行っています。また先端的地球深部科学研究に必要な新しい技術や手法の開発を行うとともに、これらの技術を生かした学際的研究も目指しています。PRIUSではGRCのこのような先進的実験技術や数値計算技術、また世界トップレベルの超高压装置群や微小領域分析装置類などを活用し、「共同利用・共同研究施設として、高圧力を利用した地球惑星科学、物理学、化学、材料科学、生命科学等の分野の学際的研究を行い、かつ、大学の教員その他の者で拠点の目的たる研究と同一の分野の研究に従事する者に利用させることにより、先進的な超高压科学研究の総合的推進を図る」（愛媛大学先進超高压科学拠点規則より）ことを目的としています。

- 応募方法・規約
- 実験設備
- 採択課題一覧
- PRIUSロゴマーク
- PRIUSシンポジウム



共同利用・共同研究申請締切

毎年 1/31 (ただし年度途中でも受入の場合あり)

The screenshot shows a web browser window displaying the website for the Geodynamics Research Center (GRC) at Ehime University. The browser's address bar shows the URL www.grc.ehime-u.ac.jp/prius/guideline. The website header includes the GRC logo and navigation menu items: HOME, About, Research, Education, Members, PRIUS, and News&Events. The main content area is titled "応募方法・規約" (Application Method and Regulations) and contains the following text:

共同利用の公募要項は「[2016年度公募要項 PDF](#)」「[2016Application Guidlines ENG PDF](#)」からご覧いただけます。公募は年1回としておりますが（申請締切2016年1月31日）、公募締め切り後でも受け入れを許可する場合がございますので、該当研究分野の対応教員に御相談ください。申請用紙の請求及び照会は、当センター研究拠点事務課宛に連絡いただくか、下記からダウンロードして下さい。

Below the text is a button labeled "共同利用・共同研究申請書" (Application Form for Joint Use/Research) and a link for "English versions".

A dark grey banner below the text is titled "共同利用・共同研究" (Joint Use/Research) and contains the following text:

・世界最大・最多の多アンビル装置を含む超高压装置群や、特徴ある分析装置類を共同利用に供し、地球深部科学・超高压物質科学関連分野の研究者との共同研究を推進します。また、独自のナノ多結晶ダイヤモンド（ヒメダイヤ）合成技術や、高度な第一原理計算技術を基盤とし、超高压科学の新たな展開を目指した共同研究を推進します。更に研究集会等を通じ、国内外の超高压科学関連コミュニティにおける研究交流・人材育成と、学際的研究の促進を目指します。

・研究内容は、当センターの主要設備を使用する共同研究「設備利用型共同研究」又は、現在当センターで行われている主要研究課題に関する共同研究

At the bottom of the browser window, a download bar shows three files: "PRIUS-flowchart (...)", "PRIUS-flowchart.pdf", and "LOGO-PRIUS.png". The Windows taskbar at the very bottom shows the system clock as 16:48 on 2016/02/23.

共同利用・共同研究

- ・研究内容は、当センターの主要設備を使用する共同研究「**設備利用型共同研究**」又は、現在当センターで行われている主要研究課題に関する共同研究「**一般共同研究**」であることを原則とします。
- ・応募者は、**センター教員とあらかじめ打合せを行った上で**、別紙申請書（日本語：Application_JPN_2016 英語：Application_ENG_FY2016）に必要事項を記載の上、以下提出先までE-mail添付でご送付下さい。

※ 来所“1ヶ月前まで”に GRC 受入**教員**と打合せの上、来所申請下さい。

＜来所前＞*****

1. PRIUS 来所申請書(PRIUS HP からダウンロードできます) (提出先: GRC 受入**教員**)

申請日:

課題番号:

受入教員名:

来所者: 例) 愛媛太郎(愛媛大・教授・prius@stu.ehime-u.ac.jp)、
愛媛次郎(愛媛大・D1・prius-2@stu.ehime-u.ac.jp)、.....

出張期間:

使用装置:

旅費の要・不要:

(※原則、宿泊は職員会館を利用)

・職員会館宿泊料金(1泊)

シングル 2,400 円

ツイン 3,800 円(1室当り)

・航空券:PRIUS 事務にて手配

2. GRC 受入**教員**より PRIUS 事務へ提出

3. 受付後、PRIUS 担当事務より来所者へ連絡

＜来所時＞*****

4. 受付：PRIUS 事務（総合研究棟 I 3 階研究拠点事務課）

時間：8:30－17:00

（時間外・休日に来所・退所される場合は、受入**教員**へご連絡下さい。）

- ・ユーザーカード受取
- ・入構カード受取（時間外・休日利用者）
- ・職員会館使用許可書受取（利用者）
- ・誓約書の提出（年度初来所時）
- ・安全衛生教育資料受取（年度初来所時）



5. GRC 受入**教員**へ

＜退所時＞*****

6. ユーザーカード・入構カードの返却：PRIUS 事務又は受入**教員**

来所報告書：受入**教員**へ電子ファイルで提出（退所後、1 週間以内に提出）

＜成果報告＞*****

7. 当該年度の研究成果・研究集会報告書を次年度4月末までに提出

装置・技術利用内規（注意事項）

3. 利用においては、装置・技術管理者（以下管理者）の指示のもと必要な操作を習得するものとします。また、**利用日・時間については、原則として利用希望日の1ヶ月前までに管理者と打ち合わせる**こととします。**装置等の利用は原則として週3日を限度**としますが、運用状況により異なりますので管理者とご相談ください。
5. 採択課題に対しては、必要に応じて愛媛大学旅費規定に基づき旅費および滞在費を支給します。但し、限られた予算内での支給のため、滞在費は実費程度に調整させていただきます。

旅費について

- 旅費は今年度は希望されたほとんどの課題で支給できた。
- 多くの方への支給を可能にしたため、航空運賃は割引運賃（もしくはパック）利用にご協力ください。
- 手配はPRIUS事務で行います。
- 宿は基本は愛媛大学職員会館を手配にご協力ください。

是非利用してください

- 5階部屋
- ロッカー
- 下駄箱
- 自転車
- インターネット

- 1) Eduroam (eduroam JPは、大学等教育研究機関の間でキャンパス無線LANの相互利用を実現する、国立情報学研究所(NII)のサービスです。国際無線LANローミング基盤eduroamは、業界標準のIEEE802.1Xに基づいており、安全で利便性の高い無線LAN環境を提供します。2016年2月現在、国内135機関、世界約75か国(地域)がeduroamに参加しています。)
- 2) もしくは、Ehime Free Wi-Fi

論文の発表

本共同利用・共同研究による研究成果や研究集会を公表する場合、本共同研究の成果である旨を附記して下さい。英文の場合の参考例は次の通りです。また、公表された印刷物(論文・学会予稿など)の別刷り(電子媒体も可)を下記提出先までご送付下さい。

- 1)This work was carried out under the Visiting Researcher's Program of Geodynamics Research Center, Ehime University.
- 2)This paper presents a result of a joint research program carried out at Geodynamics Research Center, Ehime University.

愛媛大学研究支援部研究拠点事務課

E-mail: priusstu.ehime-u.ac.jp

皆さんのPRIUS活動への積極的ご
参加がPRIUS拠点維持に繋がります。
ご協力をお願いします。



先進超高压科学研究拠点

PRIUS